

学校便り



<http://www.suginami-school.ed.jp/sugil0shou/>

杉 十

“かがやきの学校”

9月号

令和8年9月1日

杉並区立杉並第十小学校

9月1日 防災の日 にあたって

校長 塩練 裕子

皆様、夏休みはいかが過ごされたでしょうか？

昨年度を思い出すと大変暑い日が多く続いていたように思いますが、今年はそこまでではなかったようです。暑さの厳しい日が多くなってきたことを受けて、最高気温が40度以上の日に新しい名前が付けられることになり、令和8年4月には、「酷暑日」と呼ぶことが決定しました。今年、東京ではさすがに40度を超えた日はなかったのですが、日本全国で見ると、東京より西側の地域では40度を超えた日は多かったようです。気象関係では、台風もこれまでとは違った動きをする台風もありました。夏ですから台風の発生は仕方がないとしても、日本の東側から茨城県に上陸した台風がありました。これまでこのような動きで日本に上陸した台風は初めてだったということで、予報を出すのもなかなか定まらなかったところもありました。東京では、これまでの台風では、「台風一過」と言って、台風が過ぎると晴れの日が続いたりしたのですが、今年の台風15号の後には、台風の後にも雨降りが続き、線状降水帯があらちちで発生しました。これまでの8月の降水量よりもかなり多くの雨が降ったこともあり、場所によっては排水が追いつかず浸水の被害が出たところもありました。大水により車が動けなくなり、水没している用紙がニュースでも多く流れていました。東京でも局地的な豪雨が降ることもあり、災害への備えは必要だと感じます。

災害でいえば、7月28日に起こった熊本の地震があります。10年前にも同じように大きな地震が起きて、復興してきているところでしたが、再び地震が起きました。家屋等の倒壊をはじめ、停電や水が出ないなどの被害が起きていました。水道ではなく井戸水を使用していたところは、その配管等にも課題があり、今でも自由に水が使えないところがあるようです。東京でも、23日午前2時に、場所によっては震度5弱

となる地震が起きました。夜中に起こった地震であり、携帯の緊急地震速報なども流れたため、かなりびっくりしました。

このように、台風や地震などの災害が起きることは、私たちの力では止められない部分もありますが、災害が起こった時にどのように行動するかを考えておいたり、必要なものを備蓄したりしておくことはできることです。9月1日の防災の日にあたって、改めて考えることは必要なことでしょう。東海沖の地震もいずれ起きると言われています。

杉並第十小学校では10月3日に運動会を予定しています。体育館での練習を取り入れたり、気象の状況をしっかりと把握したりしたうえで、練習に取り組んでいく予定です。暑さ指数なども調べて、熱中症にならないように気を付けていきますが、水分の補給などは必要になりますので、水筒などを持参し、こまめな水分補給ができるようお願いいたします。運動会の練習だけでなく、登下校でもまだまだ暑い日が続くと考えられます。日傘をさしたり、帽子をがぶったりする人は増えてきているように感じています。日頃から体調を整えて、暑さ負けしないようにすることも必要です。残暑厳しい折ですが、しっかりと乗り切っていきましょう。

さて、今年の夏休み中にも、改修工事が入りました。体育館での個人面談にもご協力ありがとうございました。今年の改修工事は、1階の1・2年生の教室の床面、2階の3・4年生の教室の床面以外のところ、3階の第一音楽室全面と第2音楽室の照明、1階の廊下全面が行われました。この後、9月にはコモンスペースを、10月以降には、東側の外壁の塗り直しなどが行われます。毎年少しずつ行っていくしますので、時間がかかりますが、少しずつきれいになっていきますので、ご協力をお願いいたします。